

中国子会社IFRS組替実例から見た 原則主義と詳細規定

2009年度決算期を迎え、国際財務報告基準(IFRS)へのコンバージョン問題を具体的に検討する必要性も高まってまいりました。

弊社では、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(PITF18号)による多数の中国子会社に対するIFRSコンバージョン対応実績を持っており、実務現場で発生した各種問題事例の紹介、またIFRSで難しいといわれる「原則主義」をどのように理解すればよいのか、さらには監査法人対策など、今後会社が対応しなければならない諸問題を解説します。

～セミナーの主な概要～

現在多くのIFRSセミナーが開催されていますが、単なる規定の解説や概念的なものなど、表面的内容にとどまっているのが現状です。これはどのセミナーも「IFRS導入の実務」を未だ経験したことがないからです。

弊社では既に60社以上の中国子会社へのIFRS導入を行いました。やはりさまざまな問題が噴出しました。これら実務現場で発生した諸問題・事例を分析・攻略し、日本本社にフィードバックすべきIFRSの各規定の解説をしてまいります。

主な解説ポイントは…

- ・ IFRSの原則主義を理解すること、日本のルール主義との違いと、原則主義ゆえの具体的な会計処理例の解説
- ・ 「出荷基準はダメ」「子会社決算期や会計方針は必ず統一」とは本当か？
- ・ 気をつけるべきポイント、IFRS初年度適用時に必要な期首修正項目、遡及修正項目の整理
- ・ 監査法人から各種問題の指摘を受けた、その検証 - 正しい指摘と間違った指摘の事例紹介
- ・ コリダー一括処理だけではない退職給付会計の注意点、代行返上は遡及修正必要なのか？など
- ・ 新しい決算書と会計処理 ～ 包括利益計算書とリサイクル処理 等々

(決算前時期ではありますが、IFRSアドプションの情報収集に必ず役立つと思われるのでぜひご参加下さい。)

日時: 3月25日(木) 受付開始13時00分 セミナー13時15分～16時45分(休憩、質疑応答含む)

定員: 60名(先着順とさせていただきます)

場所: ANAインターコンチネンタル(東京都港区赤坂1-12-33) 地下1階 プリズム

<http://www.anaintercontinental-tokyo.jp/access/index.html>

参加費: 一般10,000円(税込) (3月16日までに振込願います、振込先は追ってご連絡いたします)
(東京マイツ顧問契約のお客様は5,000円、他のマイツグループとご契約のお客様は7,000円となります)

講師: 上海マイツ諮詢有限公司 公認会計士 金本 勲相

<略歴> 94年同志社大学商学部卒業、95年に公認会計士2次試験合格後、同年KPMGセンチュリー監査法人大阪事務所(現あずさ監査法人大阪事務所)に入社、98年公認会計士登録、2005年より上海マイツ諮詢有限公司、中国子会社60社以上のIFRSコンバージョンを完了させている。

【ご協賛会社の紹介 株式会社電通国際情報サービス社 (ISID)】

ISIDは自社開発の連結会計(管理/制度)ソリューション「STRAVIS」を中心として、400以上の上場企業グループにグループ経営管理の支援を実施しています。中国では、中国子会社からの効率的な財務データ収集、中国子会社でのサブ連結業務の支援をシステム面からサポートしています。

～ ご連絡・詳細はセミナー事務局又は弊社HPまで ～ [マイツホームページ](http://www.myts.co.jp) <http://www.myts.co.jp>

株式会社東京マイツ 東京都港区赤坂2-19-4 FORUM赤坂10階

(TEL)03-5549-2021 (FAX)03-5549-2023 担当:井手 (e-mail) vide@myts.co.jp

MYTS

検索

貴社名 _____ お名前 _____ ご参加人数 _____ 人

お電話番号: _____ FAX番号: _____ e-mail: _____

質問がございましたらお書きください。

弊社グループ会社とご契約のお客様は、下記該当するご契約場所に _____ を囲んで下さい。

東京 大阪 京都 名古屋 大連 天津 上海 蘇州 広州 深セン